



相談室の大西朱実（おおにしあけみ）と渡邊沙久良（わたなべさくら）です。どうぞ宜しくお願いします。

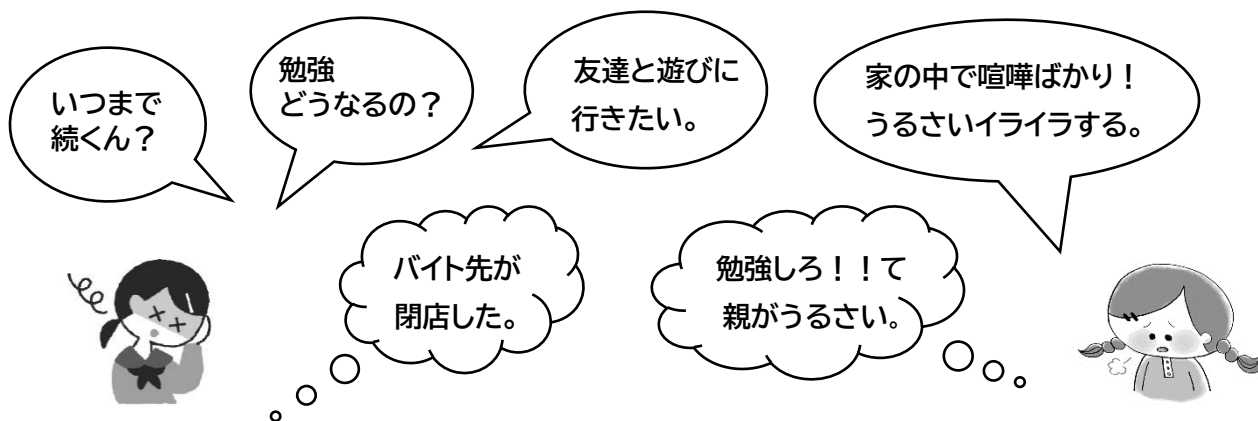
生徒の皆さんへ



みなさん、こんにちは。

そして、ご入学・ご進級おめでとうございます。

お会いして、皆さんとお顔を合わせ、ご挨拶させていただくところでしたが、今年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、皆さんの命の安全を守るために本校も長期の休校が続いています。さぞかし、不安な毎日をお過ごしのことと思います。「みんな、どうしているのかなあ?」「不安やイライラする気持ちを誰かに話せているかな?」と思いながら、今これを書いています。



先の見えないこのような時期にイライラしたり、モヤモヤした気持ちになったり、心配や不安が込み上げてくるのは自然なことです。そんな時は一人で悩まずに、信頼できる誰かに気持ちを聞いてもらうと、心が軽くなります。また、散歩をしたり自然に触れたり、好きな料理を作ったりして気持ちと体を動かすことができると命がいぎいぎとしてきます。皆さん、色々な工夫をしていることでしょう。「送られてきた課題を、時間を決めて頑張ったよ!」とか「不安な気持ちを少しだけ家族に話せたよ!」とか、それぞれがチャレンジした、どんなことも学校で聞かせてもらえるのを楽しみにしています。

保護者の方へ



コロナウィルスに対する不安に加え、休校となったことでお子達がお家にいらっしやると、三度の食事の準備や後片付けの手間が増えたり、何かと用事が増え、自分の時間が持てない。しんどい!というお声を沢山お聞きします。戸惑いつつ、頑張っているのではないかと思います。有難うございます。学校へ安心して通っていただける日まで、あともう少し! 宜しくお願い致します。学校がある時と同じように、授業や友人との学び合いもないなかで、子どもたちが一人で毎日、規則正しい生活を送るのは高校生といえども、なかなか難しいことだと思います。それだけに、日頃できない家族との交流、不安やイライラした気持ちを家族に聞いてもらえる機会などが持てると、今後の学校生活を送る上で、子どもたちが自分を大切に育て合う力になると思います。それでも、親として思春期の子どもとの関わりについては戸惑うことも多いことでしょう。そんな時にはどうぞ、お声かけ頂ければと思います。よろしく願いいたします。